

ハーモニー

No.
72

令和3年3月15日

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341



安心安全の手づくり味噌を仕込む

今年も恒例の手作りみそ教室を2月18日に開催しました。参加者の皆さんは、予め自宅で柔らかく煮た大豆を持ち寄り、講師の松木千鶴子さん（神明町）に指導して頂きながら、みんなで協力し合い合計約115キロのみそを仕込みました。初めて参加された方からは「豆を煮るのが大変だった。」「思ったよりも重労働。」「などの声もありましたが、出来上がりが待ち遠しいようでした。みそは土用過ぎまでゆっくり寝かせます。

今年はおまびエ柄も！

ミニ畳作り教室を開催

ミニ畳作り教室を2月25日に地元今間畳店の今間秀一さんに指導していただき開催しました。

畳表は、一般的なものから市松模様や細かく編まれたものなど、縁はお雛様用や今年人気の鬼滅の刃の着物柄、アマビエ柄など様々準備していただきました。参加者の皆さんは、目移りすると迷いながらも思い通りの組み合わせで2枚のミニ畳を作りました。

出来上がりを見比べるとどれも素敵で、何を載せて飾ろうかと満足さうです。



第3期 鮎貝地域づくり四カ年計画書（案）

計画の推進に向けた体制と具体的な実施内容

先月号に掲載した地域づくりの理念や地域の将来像、地域づくりの目標に向かって取り組んでいくための体制は下図の通りとなりますが、図の解説は割愛させていただきますのでご了承ください。

分野（部会）毎の具体的な事業内容案や参考例は次頁に記載しておりますが、これまでの6部会を3部会に集約したことや、個人協力をサポーターと呼称することなども改正されました。

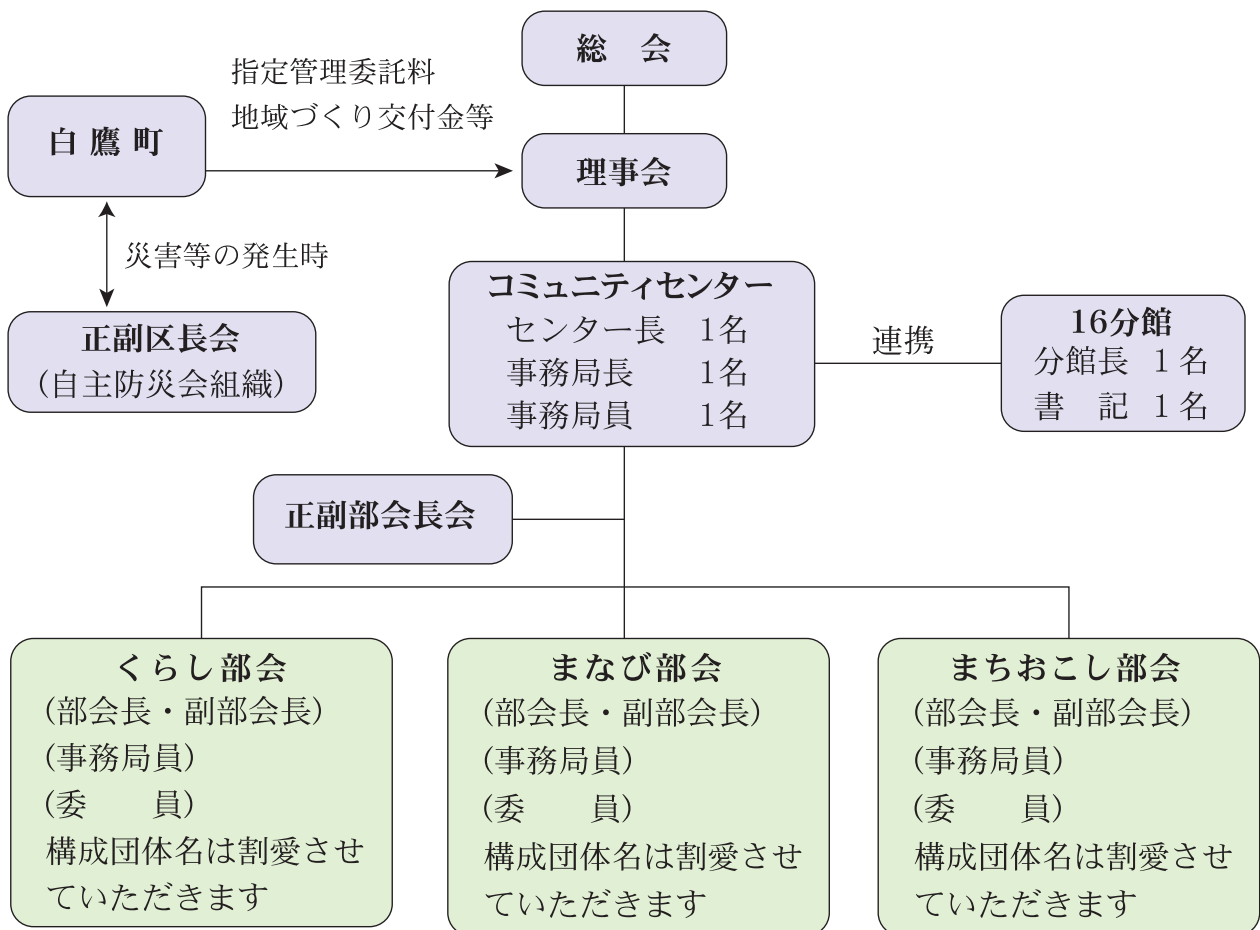
まちづくりサポーターとして ぜひ活動にご協力ください

まちづくり協議会の委員として、くらし、まなび、まちおこし部会のいずれかの部会に所属していただき、様々なイベント等の企画運営に関わっていただきます。任期は令和3年度からの2年間です。これからの鮎貝を一緒に創っていきましょう。お問合せ、お申込みはハーモニープラザまでぜひお願い致します。

【推進体制図】

鮎貝地区まちづくり協議会（指定管理団体）
 【組織構成員：地区内の全住民で組織します】

【役員】	【委員】	【事務局】
会長 1名（区長会長）	組織代表者	コミュニティセンター
副会長 2名（区長）	サポーター	（ハーモニープラザ）
理事 若干名		
監事 2名		



具体的な地域づくり計画(案)

くらしの分野 (部会)

- (1) 住民の安全・安心のためのまちづくり
 - ① 自然災害等に備えたまちづくり
 - ・ 情報交換会の実施
 - ・ 災害を想定した図上訓練の実施
 - ② 犯罪や事故の未然防止に備えたまちづくり
 - ・ 防犯パトロールの実施※
 - ・ 防犯診断の実施※
 - ・ 視距妨害樹木伐採の実施※
 - ・ 交通安全祈願祭の開催※
 - ・ 死亡事故ゼロ運動の推進※
- (2) きれいで快適に暮らせる環境づくり
 - ① みんなで取り組む環境保全活動の推進
 - ・ 町内一斉ごみ拾い活動の推進
 - ・ エコドライブ講習会の実施
 - ・ ごみ不法投棄防止看板、犬のフン始末看板の設置
 - ② ごみ減量のまちづくり
 - ・ EMぼかしづくり講習会の実施
 - ・ 段ボールコンポスト講習会の実施

まなびの分野 (部会)

- (1) 生涯学習、健康づくりの普及拡大
 - ① 各世代が生涯にわたって共に学び、共に楽しむ機会の設定
 - ・ 電子機器の使い方講習会の実施
 - ・ 菜の花学級の事業☆
 - ・ ふれあい交流スクールの事業☆
 - ・ コミセン独自事業の充実☆
 - ・ 子ども会育成会連絡協議会の事業※
 - ・ 健康を意識し生き生きとした活動の推進
 - ・ 健康ウォーキングの実施
 - (2) 鮎貝の歴史と地域を知り愛着を持つことのできる場づくり
 - ① 鮎貝の文化と地域を学ぶ機会の設定
 - ・ 歴史を学ぶ講座の実施
 - ・ 歴史探訪ウォーキングの実施
 - ・ 鮎貝の民話収集と保存活動の推進
 - ・ 三十三観音の説明板修復等の実施
- 注)※印の事業は町との連携によりコミセンが事務局を担当している組織の事業で、☆印の事業はコミセン独自の事業と内部組織の事業です。部会直接の事業ではありません。

まちおこしの分野 (部会)

- (1) 地域の活性化とコミュニティづくり
 - ① 地域の交流や親睦を図る活動の推進
 - ・ 新春懇談会の実施
 - ・ 地区まつりの開催
 - ・ 軽トラ朝市の実施
 - ・ 社会体育振興会事業の充実※
 - ・ 地元商店から購入した食材で食べる取り組み
 - ・ 商店街の活性化策の取り組み (例) 大道芸フェスティバルの開催
 - ・ 現元商店の家紋・屋号・商売内容揭示バーチャル商店街の発信等
 - ② 地域おこし協力隊の活用
 - ③ 仲間づくり、ふれあいづくりの推進
 - ・ 社会体育振興会事業※
 - ・ 八幡若衆会によるイベントへの支援
- (2) 鮎貝の資源を活かしたまちおこし
 - ① 鮎貝の宝の再発見と維持管理
 - ・ 白山森史跡保存協賛会との連携による白山森周辺を活用したまちおこし
 - ・ ご当地ソングの制作
 - ② 資源の利活用と発信

令和二年二月二十八日（金）、全国一斉休校という、当時の安倍内閣からの要請を受けて、三月二日（月）から学校が閉じられてしまいました。そして、再開したのが五月十八日（月）でした。卒業式、入学式は執り行われたものの、大幅な縮小に心が痛みました。あの時から一年が経とうとしています。

学校再開時には、余りにも長い休みが続いたこと、また、人と触れ合うことも自粛しなければならぬストレスから、子供たちの心の状態がとても心配でした。しかし、子供たちは明るく元気に登校し、友達と会えること、一緒に学習できることの喜びを実感しているようでした。

「新しい生活様式」、「三密を避ける」等、今までに経験したことのない毎日、かなり厳しいものがありました。大きな学校行事である水泳記録会や運動会、学習発表会等は中止や縮小せざるを得ませんでした。でも、六年生をリーダーとして、自分達で工夫し、できることをしっかりとやり遂げるその姿には、頼もしさを感じると共に、保護者、地域の皆様のご理解とご協力に対し、心から感謝するばかりでした。

「なぜ、学校で学ぶのか」。そんな問いがあります。感染拡大防止のために、リモート形式で学習するというスタイルが、全国的に広がりました。コロナ対策ではなくとも、これからの時代は、そのような形になっていくのでしょうか。しかし、「なぜ、学校で学ぶのか」をもう一度考えた時、学校でなければ学べないことがたくさんあると、わたしは思っています。「主体的・対話的で深い学び」。新しい学習指導要領のベースとなる理念です。この学びを高め、深めるためには学校が必要と考えます。人との関係のあり方を含めて、いろんな壁にぶつかり、くじけそうな時にも、けっして諦めず、挑戦し続ける力は必要です。

鮎っ子たちには、これからも、負けることを恐れず、強い心をもって挑戦し、学び続けてほしいと願っています。



～駐在所からのお願い～

歩行者の安全を守りましょう

春休みになると、道路を歩く子ども達が増えてきます。

ドライバーの方は、子どもを見かけたらスピードを落とし、子どもの動きに注意しましょう。



また、横断歩道は歩行者が優先です。横断歩道付近に横断しようとする人を見たら、横断歩道手前できちんと止まり、歩行者を安全に横断させてください。

歩行者に優しい運転をしましょう。

白鷹西駐在所 佐藤 巡査部長

ハーモニープラザの外回り管理作業をしていただける方を募集しています

ハーモニープラザ周辺の草刈りや除草剤の散布、芝生の芝刈り、雪囲いなど、外回りの管理作業をしていただける方を募集しています。

詳しいことは打ち合わせの際にご説明致しますが、ぜひご連絡をお願い致します。

これからの主な行事予定

- 3/17(水) 防犯診断（車の施錠点検）
- 4/ 1(木) 辞令交付式
- 4/ 6(火) まちづくり協議会会計監査
- 4/14(水) " 理事会
- 4/13(火) 社会体育振興会事務局会
- 4/16(金) " 理事会（総会）
- 4/22(木) まちづくり協議会総会

状況により変更になる場合もございます。